

# 完了形

ある行為を「完了した」、「経験した」、「継続した」という表現は、単純な過去形とは少しニュアンスが違いますよね。例えば「I met him」(彼に会った)という単純な過去の事実の情報と、「彼にあったことがある(経験している)」という情報はニュアンスが違います。完了形は後者のような表現をするときに使えます。

完了形は基本的には、ある動作や状態を「完了」、「経験」、「継続」した、という表現をするとき使います。完了形には、主に2種類、**現在完了形**と**過去完了形**があります。まずは現在完了形から説明します。

## 「現在完了形」 (have/has＋過去分詞)

文中の動詞の部分は「have/has＋過去分詞」をいれます。この表現には主に3種類の意味があるので順に説明します。

### 1. 今～したばかりである、もう～してしまった(完了した)

**例★I have finished reading the book.**

今その本を読み終えたらころだ

※単に過去に「本を読んだ」の意味で“I read the book”だとそれは昔の出来事である、という意味を含み、ニュアンスが異なる。

もしくは、「もうすでにその本は読んでいる」という完了を意味するときもある。この際は already (副詞)などを伴ってその意味が強調されることがよくある。

**例★I have already finished reading the book.**

わたしはもうすでにその本を読み終えた。

否定形にすると、「まだ～していない」(完了していない)という意味になり、。yet (副詞)がつけられることがよくある。

**例★I haven't finished reading the book yet.**

私はまだその本を読み終えていない

### 2. ～したことがある(経験したことがある)

**例★I have met the president of the country.**

私はその国の大統領に逢ったことがある

### 3. 現在までの何かが続いている状態を表す場合(継続している)

**例★***My father has worked for the company for 8 years.*

私の父はその会社に8年間働いている

※8年前から今もずっと働いている、という意味なので、現在も辞めずに働いていることになる。単なる過去形で He worked for the company (彼は会社のために働いた)だと働いた、という過去の意味になり、現在はもう働いてはいないことになる。このように、過去形と現在完了形は区別しましょう。

## 「現在完了進行形」

さて、現在完了進行形という、現在完了の進行形があります。これは「have(has)+been ~ing」で表します。これは、ある行為や状態が継続していることを強調し、かつこれからも続いていく、というニュアンスを表現します。(今までずうずうっと~していたし、これからもうそうだろう、というニュアンス)

**例★***I have been feeling tired these past few weeks because of my kids.*

子供たちが原因で、私はここ数週間疲れっぱなしだ。

## 「過去完了形」

過去完了形は「had+過去完了」であらわせます。

現在完了と同じような意味ですが、それが「過去のある一時点よりも前に」すでにそうになっていた、と理解するといいです。

### 1. 過去のある一時点までにはすでに~していた。(完了していた)

**例★***I had already known about my promotion before my boss told me.*

上司に知らされる前に、すでに私は自分の昇進については知っていた。

### 2. 過去のある一時点までには、~したことがある(経験していた)

**例★***I had already met the president before I got the job at the company.*

その会社で仕事が決まるよりも前に、すでにその社長にあったことがある。

### 3. 過去のある一時点まではずっと~であった(継続していた)

**例★***Most of the workers had worked for the company for over 10 years before it went bankrupt.*

ほとんどの従業員が、その会社が倒産する前までに10年以上は働いていた。

## 「過去完了進行形」

※過去完了進行形は「had＋been＋動詞ing」です。過去完了進行形にすると、その継続していた行為がより頻繁であった、というニュアンスになります。

**例★***Most of the workers had been working for the company for over 10 years before it went bankrupt.*

ほとんどの従業員が、その会社が倒産する前までにずっと10年以上は働いていた

## 「大過去」

文中において、過去に起きた2つの出来事に言及した際、そのうち1つの出来事の方がより過去に起こったことを表すために使う。「had＋過去分詞」の過去完了形の形で表せます。

**例★***Jenny went to her friend's party after she had finished her homework.*

ジェニーは宿題を終えた後、友達のパーティに行った。

※「宿題を終えた」という出来事のほうが、「パーティに行った」ことよりも前の過去のなのでこの部分を「had＋過去分詞」の過去完了形で表しています。

## 「未来完了形」

「will have＋過去分詞」で表せます。

未来のある時点までにおいて、ある動作が完了、経験、継続しているかを表すことができます。

1.未来のある時点までには、～することを完了しているだろう

**例★***We will have finished most of the work by tomorrow night with your help.*

あなたの助力があれば、明日の夜までには、ほとんどの作業が完了しているだろう。

2.未来のある時点までには、～することを経験したことになるだろう

**例★***If I read this book again, it will have been the 5th time to read it.*

もし私がこの本を再び読めば、この本を読むのは5回目になるだろう。

3.未来のある時点までは、ずっと～することを継続しているだろう

**例★***By next week, I will have worked for this company for 15 years.*

来月で、この会社で15年間働いたことになる。